



平成26年10月10日

各 位

会 社 名 宮越ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 宮越 邦正  
(コード番号 6620 東証第一部)  
問合せ先 常務取締役 板倉 啓太  
(TEL 03-3298-7111)

## 子会社の事業縮小及び特別損失の発生に関するお知らせ

当社は、平成26年10月10日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるクラウン株式会社の電気機器等の製造販売事業の縮小について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 事業縮小の理由

当社グループの電気機器等の製造販売事業は、連結子会社であるクラウン(株)が、映像機器、音響機器等の電気機器製品を中心に、欧州や中南米、アジア等海外において事業を展開し、長年に亘り当社グループの中核事業に位置付けてまいりました。

しかし、電気機器製品の業界を取り巻く世界経済は、2008年の世界金融危機後から徐々に回復を続けてきたものの、2011年の欧州債務問題等の影響から急速に減速し先行き不透明感を強めております。

また、当社グループの主力製品であるLED液晶テレビ市場におきましても、消費意欲の低下など市場の停滞感が強まる中、新興国の台頭により価格競争が一段と激しさを増し、当事業にとって市場の環境は非常に厳しい局面を迎えております。

このような環境下、当社グループでは、市場環境の変化に対応すべく取引先と連携し、新規市場の開拓や新型モデルの開発等様々な施策を実施してまいりましたが、年々売上げの減少が顕著な状況にあり、開発費や販売促進費等のコスト増加により採算性が悪化し、今後継続的に黒字を確保することは極めて困難であるとの判断に至りました。

上記の状況を踏まえ、当社グループでは、全体の事業戦略の見直しを行ない、当事業における市場環境や製品の市場競争力等について検討した結果、当事業を縮小することを決定した次第であります。事業縮小にあたっては、商品開発、販売促進などの新たな投資は行わず、製造についても従来の見込生産方式から受注生産方式に変更する予定であり、先々収益を確保できない場合は当事業からの撤退も検討せざるを得ないものと考えております。

今後は、当社グループの中核事業となる中国深圳市における不動産開発事業(総合都市開発事業)に経営資源を集中し、不動産開発事業の拡大と経営基盤の安定に努めてまいります。

尚、不動産開発事業へは多数の企業進出を予定しており、進出企業の内、資本・業務提携等を希望される企業に対しては積極的に資本・業務提携等を進めてまいる所存であります。

## 2. 当該子会社の概要

名 称	クラウン株式会社
住 所	東京都大田区大森北一丁目23番1号
代表者の役職・氏名	代表取締役会長兼社長 宮越邦正
事業内容	電気機器等の製造販売
設立年月日	昭和23年5月27日
資本金	100百万円
株主構成	当社100%

## 3. 当該事業の最近3年間の経営成績

決算期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
売上高	7,581百万円	4,448百万円	4,584百万円
営業利益	137百万円	133百万円	117百万円

## 4. 事業縮小に伴う損失額

当該事業の縮小に伴い発生する損失につきましては、現在交渉中ではありますが、販売先及び仕入先に生ずる損害額を補償するため、約1,397百万円の特別損失の計上を見込んでおります。

## 5. 今後の見通し

当該事象による当期の業績への影響につきましては、本日別途開示いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以上